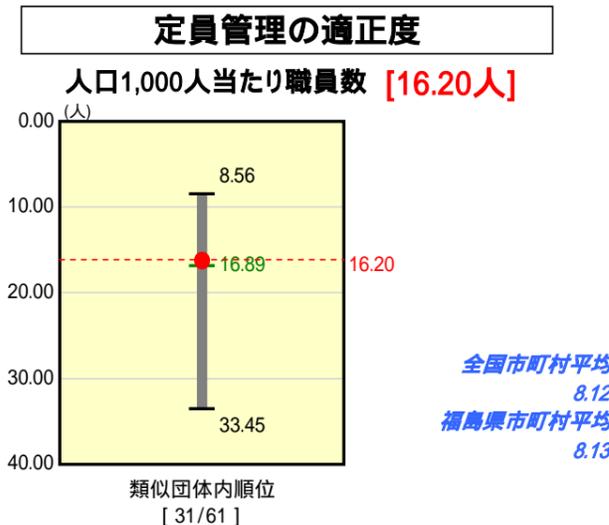
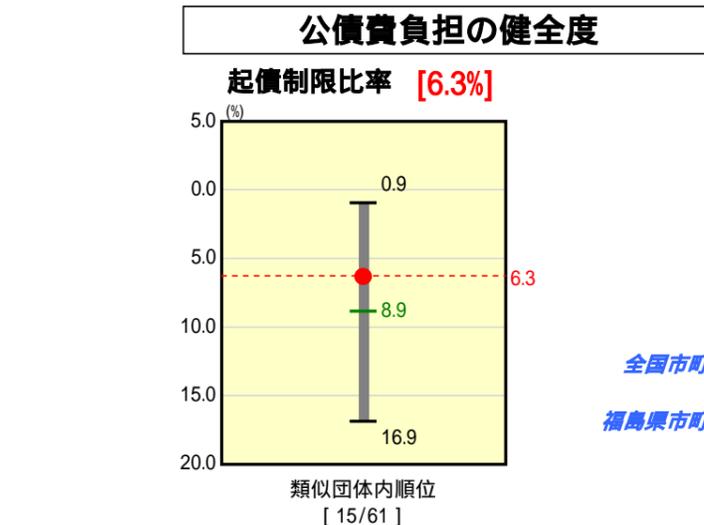
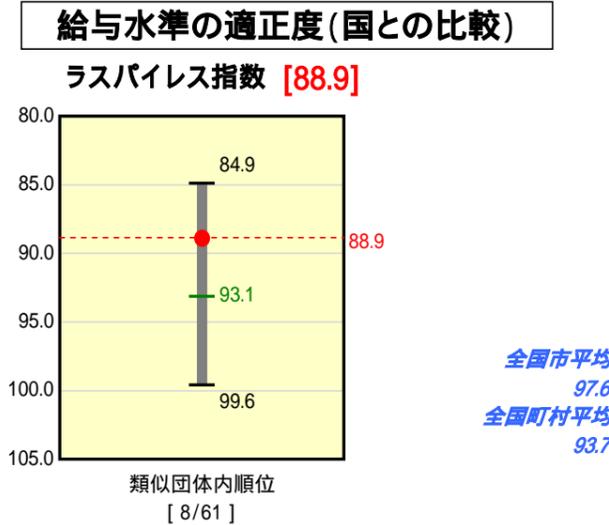
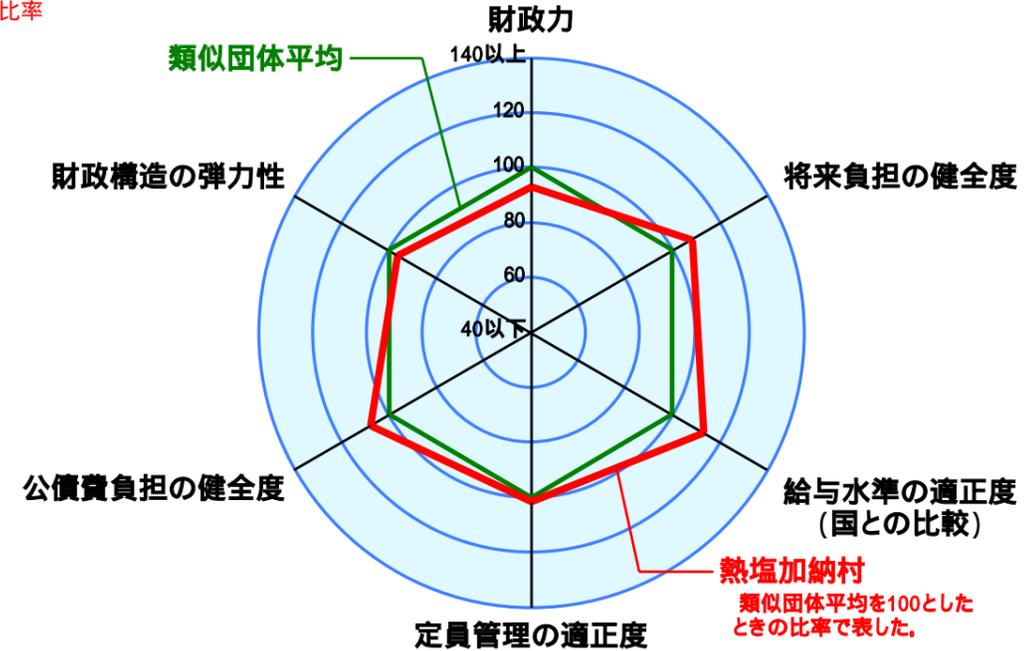
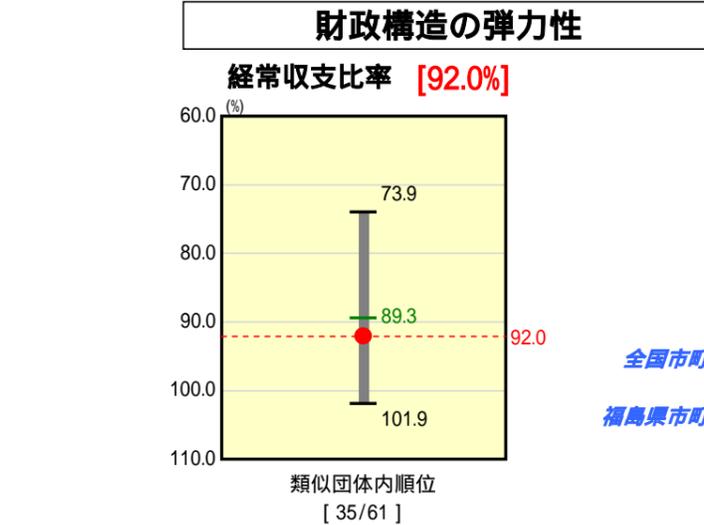
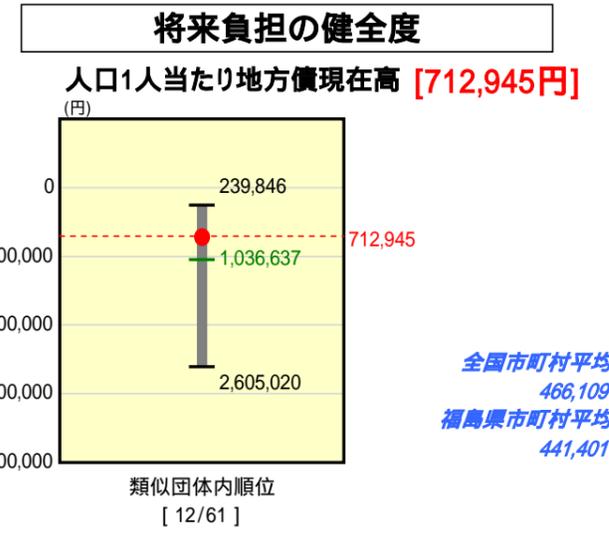
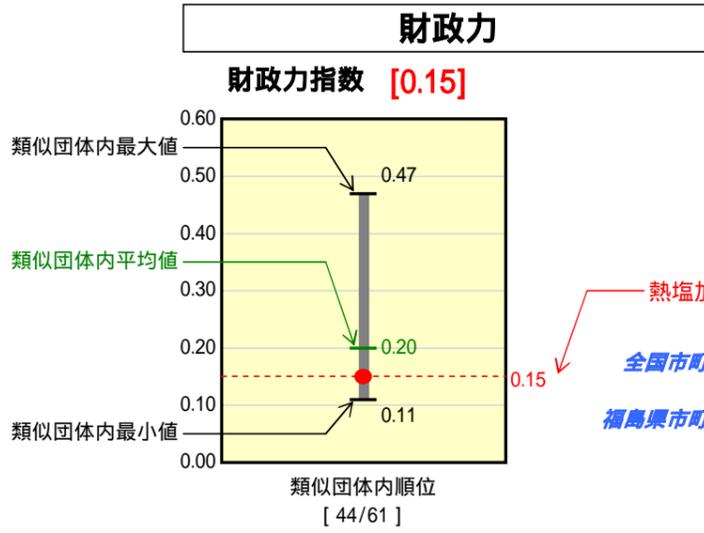


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 熱塩加納村

人口	3,519人(H17.3.31現在)
面積	156.98 km ²
歳入総額	2,564,749千円
歳出総額	2,395,795千円
実質収支	168,954千円



分析欄

財政力指数: 人口の減少や高い高齢化率、税収低迷等により財政基盤が弱く、類似団体平均を0.05ポイント下回っている。平成18年1月4日合併により喜多方市となり、行政の効率化に努めることにより財政基盤の強化を図る。

経常収支比率: H16指数92.0%(H15指数84.0%)対前年比8.0ポイントの増
 指数増高の要因
 収入: 経常一般財源収入額の減(普通交付税 47,180千円、臨時財政対策債 74,700千円)
 支出: 公債費の増(+15,623千円)(H7,H8減税補てん債一括償還)、繰出金(経常)の増(+52,978千円)

起債制限比率: H16指数6.3%(H15指数6.5%)対前年比0.2ポイントの減(ピーク時H10指数12.5%)
 指数低下(健全化)の要因
 過年度において財政構造改善のため、任意の繰上償還を実施し、後年度における公債費負担の軽減を図った。(・H9...9,230千円 H10...153,826千円 H13...124,011千円)

人口1人あたり地方債現在高: 過年度における任意の繰上償還の実施により類似団体平均を下回っているが、人口の減少等により依然1人あたり現在高は高く、全国、県内市町村平均を大きく上回っている。

ラスパイレス指数: 給料表6級に在級する職名は、課長及び主幹職であるが、課長相当職である主幹の職域を抑えたこと、旧来定員の15%の範囲内で行う特別昇給(1号効果)を、その時期について極力抑えたことにより、依然類似団体平均よりも低い水準にある。今後、各種手当等の抜本的な見直しを図るとともに、適正な給与水準の確保を図る。

人口1,000人あたり職員数: 保健関連の事務移譲、下水道事業の重点的な整備促進、介護保険の導入及び分権に伴う事務の増加等、多様な事務事業が増大しながらも、事務の簡素・合理化、職員の適正配置を図りながらも増員を抑え、類似団体平均とほぼ同じ水準を保ってきたところである。今後も総合的に行政改革として見直しを行い、定員の適正な管理に努める。